

津軽三味線

津軽三味線全国コンクールで名を馳せる。若手奏者を中心とした津軽三味線民族音楽ユニット。
メンバーの中心となる阿部金三郎・銀三郎兄弟は、全国コンクール優勝経験もあり、津軽三味線演奏家の中で群を抜く実力と実績を持つ。あべやの舞台は演奏はもちろん、巧みなトークを交えた'邦楽エンターテインメント'を身上に日々研鑽を重ねている。

あべや

Abeya

Tsugaru Syamisen
Japan Traditional Music
Unit



令和
5年

9月23日(土)

開演 15:00

(開場 14:30)

大樹町生涯学習センター

コスモスホール

【チケット発売日】 7月10日(月) 10:00～ 【チケット料金】 一般：2,000円 高校生以下：1,000円
全席自由 (当日：500円増) (未就学児は入場できません)
【チケット取り扱い】 大樹町生涯学習センター 01558-6-5555 道の駅コスモール大樹 01558-6-5220
帯広市民文化ホール チケットらいぶ 0155-23-8111

主催：大樹町芸術鑑賞協会・大樹町教育委員会 共催：大樹町文化協会 後援：大樹町
お問合せ先：大樹町芸術鑑賞協会 01558-6-5555



幼少期より芸事に勤しみ、わずか12歳で高橋流の名取を襲名し「金三郎」を名乗る。津軽三味線の全国大会にも学生時代より果敢に挑戦し、平成17年祈願の全国津軽三味線コンクールを二十歳で制覇し八代目全国チャンピオンに輝く。それを機に兄弟でのオリジナルCD「零」（平成17年）「壺」（平成22年）と2枚のCDを発売する。和太鼓集団「鬼太鼓」とのコラボレーション、台湾1周ツアーに参加しその名を全国に轟かせた。日本のみならず海外にも活躍の場を広げ、海外15ヵ国以上での公演も行う。アフリカはマリでの演奏、レポートの様子はフジテレビの「めざましテレビ」でも紹介され1ヶ月放送された。平成23年自身書き下ろしの民謡劇「民謡航路～南風にのせて～」が好評を博し、翌年平成24年にはアメリカ6都市で公演ロサンゼルス、ポートランド、デンバー、ハワイ、シアトル、サンフランシスコ、UCLA(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)とハワイ大学にて津軽三味線民謡ワークショップを開催し大絶賛をうける。若いながら演奏のみならずエンターテインメントを追求する舞台作りにも挑む数少ない舞台人の一人である。TV出演・・・「波瀾万丈」、「今日の出来事」、「笑っていいとも」、「めざましテレビ」etc



阿部金三郎



阿部銀三郎

民謡家である両親のもとに生まれ、学生時代より民謡の店「浅草追分」で修行をはじめ。そのセンスはすぐに頭角を表し全国の名だたるコンクールで学生部門では賞を独占する。日本最高峰の全国津軽三味線コンクールでは5年連続で準優勝という苦悩の末、2010年ようやく13代目チャンピオンの称号を手にする。10代の頃から数々の舞台を経験し、特に海外公演は豊富で若くして世界を経験。あべやとしての公演以外に単独で共演や和太鼓グループのツアーに参加。ネット番組[電閻芸脳36H]を開設し、民謡・邦楽・和楽器の新しい「見せ方」を独自の感性で若い世代を中心に発信している。2015年ももいろクローバーZの夏ライブ「桃神祭」にももクロ和楽器隊として参加。現在は兄と共に国内外で活躍中。情熱溢れる演奏とユニークなキャラクターでその人気を博す。

民謡家である家族のもと、幼少期より、民謡、三味線に慣れ親しむ。高校卒業と共に東京は浅草にある民謡の店「追分」にて修行を始め、数々の出会いと舞台を重ね始める。地域にとらわれない幅広い民謡のレパートリーを持ち、数々の大会で優勝。国内外の公演、レコーディングなどでボーカルとしてのゲスト参加も積極的に行っている。もってうまれた明るい器量はさることながら、抜群のセンスを武器に唄だけでなく、津軽三味線、津軽の手踊りと幅広く芸を広げ、エンターテインメントの追求に磨きをかける。ひとたび舞台上上がった姿からまさに「華」という言葉が似合うだろう。テレビ出演：民謡番組各局、ニュースZERO、天声慎吾、ルート81、堂本ピカー .etc 民謡、演目：日本全国の民謡をこなす、CD収録曲以外にも津軽から西ものまで、幅広くこなす。舞踊に関しては津軽の手踊りを得意とする。



根本麻耶



安藤龍正



菊地河山